

水土里レポート

投稿月日

令和8年4月29日(月曜日)

タイトル

農村環境保全活動【景観形成・生活環境保全】

水土里レポーター名

小野寺 孝一

令和8年度 多面的機能支払交付金 当麻活動組織 初作業を4月29日(水・祝)に実施しました

北海道の屋根“大雪山連邦”(右端が主峰 旭岳 標高2,291m)

この雪が融けて河川(石狩川)に流れ、水田を潤します



町内会長の注意を聴く参加者

近所のエゾヤマザクラが満開

活動開始

活動開始の午前7時30分気温7.6℃で絶好のゴミ拾いです。参加者17名は4班編成に別れて一人2枚(燃やせるゴミと燃やせないゴミ)のビニール袋持ってゴミ拾いを開始しました。



空きペットボトル・空き缶・レジ袋に入れたゴミ・たばこの空き箱(吸い殻)等々10袋程度ありましたが、昨年より少ない気がしました✨
徐々に少なくなって“ゴミゼロ”にしたいですね(願)

それぞれの班が4.4Kmを2時間弱で無事清掃活動を終了しました ✨

(参加者の皆さんお疲れさまでした)

ゴミの集約作業中 🗑️

次回の当麻区活動組織生活保全活動は町道添い550mに植栽(マリーゴールド)を7月9日(木)に実施する予定です

